

地域と共にコツコツ育む かかりつけ薬局の実態づくり



**からだ
ゼミナール**
KARADA SEMINAR
Vol.51

骨 粗しょう症マネージャーやケアマネの資格をもった薬剤師が教える 「高齢者の骨折リスク」、「薬剤師の活用方法」、「介護サービスの使い方」

7月23日(土)、神奈川県横浜市都筑区にあるアイセイ薬局北山田店にて『からだゼミナール』が開催されました。本プログラムは「からだ・病気・健康に関する地域住民の学びの場」として、2011年8月から全国各地のアイセイ薬局で行われ、今回が51回目の開催となります。地域の医師や専門家を招いたわかりやすい講義に加えて、講師へ自由に質問・相談できるとあってご好評いただいております。

今回のからだゼミナールは、「骨粗しょう症と介護保険」をテーマに、骨粗しょう症マネージャーやケアマネージャーなどの資格を持つ薬剤師社員が講師となる初めての試みでした。

当日は、松田薬剤師(兼骨粗しょう症マネージャー)から「骨粗しょう症は何故起きるのか?」や「骨折リスクを防ぐためのノウハウ」、「薬剤師の活用方法」について、宮永薬剤師(兼ケアマネージャー)からは北山田店がある横浜市都筑区での要介護認定の受け方、介護サービスの利用方法についてなど、介護にまつわる役立つ情報をお話しました。

意外と知られていないことも多々あった様子で参加者の皆さんも一生懸命メモをとっておられました。

アイセイ薬局では、かかりつけ薬剤師制度がスタートする5年前の2011年から、からだゼミナールをはじめとした地域密着型のプログラムを全国各地で開催、2016年8月現在で累計207回、20000人を超える方々にご参加いただいております。

「おくすり交換所」と揶揄される存在ではなく、真にその意義や職能を評価されるようになるには、かかりつけ薬剤師の同意書獲得競争に終始するのではなく、愚直ながらもコツコツと着実にかかりつけの実態づくりに取り組み、地域の信頼をえていくことが大切なのではないでしょうか。

写真右: 同時開催した
骨密度測定会の様子



なぜ今、かかりつけ薬剤師なのか？

現在、日本は諸外国に例をみないスピードで少子高齢化が進行しています。75歳以上の高齢者が占める割合は上昇し続けており、医療給付費は、2025年度には、2015年度の39.5兆円から1.37倍の54兆円※になると推測され、国民の健康寿命の延伸は喫緊の課題となっています。本格的な少子高齢化社会を前に、政府は「治療から予防へ」と医療政策の舵を切り、国民の健康増進をサポートするための薬局・薬剤師の活用は、ここ数年の大きなテーマの一つとなっています。

2015年10月に厚生労働省が発表した『患者のための薬局ビジョン』では、保険薬局は医薬品の供給に限らず、適切な服薬指導や残薬の管理、医師との連携による地域包括ケアへの参画など、患者さま本位の医薬分業の実現に向けた「かかりつけ薬剤師」「かかりつけ薬局」の役割を担うことが求められています。また、2016年度の調剤報酬改定により、「かかりつけ薬剤師指導料」「かかりつけ薬剤師包括管理料」が新設され、薬剤師は薬のプロフェッショナルとして、今まで以上に患者さまの薬物治療に関する不安や悩みに寄り添いサポートすることが求められています。

保険薬局を生活者の「予防医療拠点」に

当社においては2016年6月末時点で、全317店舗中約半数の143店舗に507名のかかりつけ薬剤師が在籍しており、今後全店舗においてかかりつけ薬剤師の配置ができるように取り組んでおります。また、将来的な健康サポート薬局の展開も視野に入れて、保険薬局を地域生活者の予防医療拠点として認知してもらうべく、「からだゼミナール」、「こども薬局」、「健康チェック&相談会」の3つのプログラムを柱とした“相談できる薬局づくり”を推進しております。こうした地域密着の取り組みは、全国各地へと広がっており、2011年から現在までで累計207回開催、延べ2万人を超える方々にご参加いただきました。保険薬局が地域の皆さまの健康ステーションとして、また、薬剤師が健康管理の身近なパートナーとして皆さまのお役に立てるように、アイセイ薬局は今後も様々なヘルスケアプログラムを実施してまいります。

※ 厚生労働省「社会保障に係る費用の将来推計の改定について」
《改訂後(平成24年3月)》



アイセイ薬局の地域密着型ヘルスケアプログラム「からだゼミナール」「こども薬局」「健康チェック&相談会」

KIDS DESIGN AWARDを受賞した 職業体験プログラム「こども薬局」



地域のこどもたちに医師・薬剤師の職業体験の場を提供し、医療の重要性や薬剤師の意義と役割を学ぶ機会をつくっています。

このプログラムはその体験クオリティが評価され、2015年5月に経済産業省・消費者庁が後援するキッズデザイン賞を受賞しました。

9月には、武庫川店(兵庫県)・多摩センター店(東京都)で開催予定です。(詳細は4ページ)



下総中山店(千葉県船橋市)で開催されたこども薬局の様子

今回登壇した薬剤師のお二人にお話を聞きました!

開 催前に普通に薬局に来られた患者さまへ「からだゼミナール」のご案内をお渡ししている時から、「骨密度測りたいと思っていたの。行くわね。」と直接、興味を持っていただいている声を聞いていたので、患者さまの良い反応を感じていました。私にとっては初めての登壇で緊張しましたが、講演中に深く頷かれている方も多く、やってよかったと思いました。来年は、是非後輩にもチャレンジして欲しいと思います!



松田さん(薬剤師 兼 骨粗しょう症マネージャー)、宮永さん(薬剤師 兼 ケアマネージャー)

年 配の方から若い世代まで幅広い年代の方が来られると思ったので、要介護の認定方法や介護保険サービス利用方法など、介護について幅広いお話をさせていただきました。実際には今まさに介護の悩みをかかえている60代前後の方が多く来場されていたので、もう少し悩みに寄り添った踏み込んだテーマで講演してもよかったかなと思いました。

来られる方の年齢層なども、事前に把握しておけばよかったかなと思いました。今後も薬剤師兼ケアマネージャーとして、地域の皆さまのお役にたてるような情報を発信していけたらと思っています。

北澤店長にも聞きました!!

患者様のセルフケア向上にむけて、薬剤師の視点で情報提供を行うことで“かかりつけ薬局、薬剤師として地域に貢献したい”という想いから開催しました。また、薬剤師レベルの向上を図っている薬局であることを、地域の皆さまに知っていただきたいと思いました。例えば、今回講演させていただいた店舗薬剤師2名は、ケアマネージャーや骨粗しょう症マネージャーの資格を持っています。他にも店舗にはMR認定、臨床検査技師、漢方生薬薬剤師、小児薬物療法認定薬剤師などさまざまな資格を持っている薬剤師が在籍しております。店舗薬剤師が各々いろんな専門性を持っておりますので、地域の皆さまのお薬に関するさまざまなお悩みやご相談にのることが出来ると思っています。

北山田店は地域の中核薬局となって、健康情報の拠点として地域の皆さまから信頼していただける薬局を目指しています。地域の皆さまがお悩みの時や困った時などは、北山田店にご来店いただければ、専門知識をもった薬剤師が適切なアドバイスが行えるようにいたします。店長としては、人を育てること、地域の信頼を得ること、また、かかりつけ薬剤師を推進するにあたって薬局がバックボーンになれるように、これからも頑張っていきたいと思っています。

【北澤店長 プロフィール】

薬剤師歴20年以上。研修認定薬剤師ほか、漢方生薬薬剤師・小児薬物療法認定薬剤師などの資格を保持。座右の銘は有言実行。

アイセイ薬局北山田店 (神奈川県横浜市)

開局年:平成20年 店舗形態:医療モール型

門前の医療機関:耳鼻科・小児科・整形・内科・眼科・歯科

近隣の特徴:平均年齢の若い人口増加地区でこどもの数が多い



北山田店 北澤店長



北山田店 店舗スタッフの皆さん



9 月度こども薬局の開催スケジュール

1. 日時：9月11日（日）11:00～16:00
会場：アイセイ薬局 武庫川店（兵庫県西宮市）
内容：西宮市のNPO 法人ブレンヒューマニティと共催する薬剤師職業体験プログラム。

2. 日時：9月25日（日）10:00～15:30
会場：アイセイ薬局 多摩センター店（東京都多摩市）
内容：こどもの医師職業体験・薬剤師職業体験プログラム。化学実験も実施予定。



病を知ることは、健康を知ること。
楽しく身につけるヘルス・リテラシー



GOOD DESIGN
AWARD 2015

**BEST
100**

グッドデザイン・ベスト100に選ばれたフリーペーパーが 予防医療啓発ネットワークに取り組む

自社で編集・発行する健康情報誌『ヘルス・グラフィックマガジン』は、その看過できないユーモア溢れる表紙と、根拠の確かな信頼できる情報を多彩なグラフィックでわかりやすくお伝えする誌面が評価され、2015年にグッドデザイン賞ベスト100を受賞しました。関係各方面からご好評いただいております本誌は、新たに2016年春号よりオープンメディア化に踏みきり、病院やクリニック等の医療機関や、図書館などの公共施設、アイセイ薬局以外の保険薬局、ドラッグストア、更にはヘルスケア関連事業者においてもリクエストに応じて

本誌の提供が可能となりました。

アイセイ薬局では、現在、『ヘルス・グラフィックマガジン』を通じた予防医療啓発の取り組みにご協力いただける企業さまを積極的に募っております。自社の活動だけでなくとどまらず、より多くの国民のヘルスリテラシー向上に寄与するべく、予防医療啓発ネットワークの構築にチャレンジしております。本誌の設置・配布に関するご要望や、コンテンツ2次利用に関するお問い合わせは以下の連絡先までご相談ください。

アイセイ薬局グループの施策に関するご質問や取材のご依頼は、下記ご連絡先にて承っております。

株式会社アイセイ薬局 コーポレート・コミュニケーション部

担当：霜（しも）・岩崎（いわさき）

TEL：03-3240-0250 E-mail：koho@aisei.co.jp

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-2-2 丸の内三井ビルディング